

No.607

商工 かこがわ

<http://www.kakogawa-cci.or.jp/>

7

2020



てるひめちゃん

特集 新型コロナウイルスに立ち向かう会員事業所 ～取組み事例とその思いを聞く～

■クローズアップ

加古川公共職業安定所
所長 原口 智章 さん

■エッセイ

(株)芳野基礎
代表取締役 芳野 祐太郎 さん

もくじ

1 目次

2 特集

新型コロナウイルスに立ち向かう会員事業所
～取組み事例とその思いを聞く～

7 クローズアップ

「企業・求職者両方に寄り添いたい」
加古川公共職業安定所 所長 原口 智章 さん

8 会議所のうごき

「第66回優良従業員表彰を実施」他

11 会員さんNOW

令和2年 加古川市功労者表彰 受賞

13 団体だより

加古川異業種交流会・青年部

13 会議所からのお知らせ

「印刷物入札」他

17 エッセイ

「家は基礎・柔道は基本」
(株)芳野基礎 代表取締役 芳野 祐太郎 さん

19 所報サービス

トレンド通信
「片田舎のオンライン駄菓子屋が感じさせた可能性」

20 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <http://www.kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙
『シンエーフーズ(株)』

事業所データ

◆代表者

代表取締役社長 宮内 賢二

◆所在地

神戸市中央区中町通2丁目3-2

◆電 話

078-341-7117

◆ホームページ

<http://shin-ei-foods.co.jp/>

「懐石料理 東京田村」

所在地：加古川市加古川町溝之口800

加古川プラザホテル4階

電 話：079-421-4151

◆表紙写真

- ①本格和食をお召し上がりください
(前列右が山岡料理長、後列左が長谷川総料理長)
- ②柔らかな灯りでお客様をお迎えします
- ③この日はお弁当を調理中。心を込めて作ります。
- ④女性に人気のランチメニュー「盛り込み膳」。
- ⑤和室にもテーブルと椅子で足元を楽に。

お店でもご家庭でも本格和食の味をどうぞ

1969年(昭和44)創業のシンエーフーズ(株)は、日本料理をはじめ中国料理「金龍閣」等を展開する料理店で、他にも県立フラワーセンター等のレジャー施設内、また山陽道より三木SAや、中国道下り加西SAでもレストランを運営、創業50年を経て県内20カ所で営業展開しています。今回はそのなかでも加古川プラザホテル内の「懐石料理東京田村」の皆さんにご登場いただきました。

「つぎは田村」の味を受け継ぐ「懐石料理東京田村」は、1986年(昭和61)に加古川プラザホテルが開業すると同時に同ホテル内で営業を開始しました。「当時、近隣に本格的な懐石料理店は少なく、大勢のお客様にお越しただきました」と懐かしそうに語るのは、同社の総料理長を務める長谷川英之さんです。同店の料理長で「活力になる美味しい料理を作る」が信条の山岡一さんとともに厨房でその腕を奮っています。

山岡さんが作る料理は和の基本を守りながらも独自のアレンジが加えられています。一方「季節感を彩りつつ『田村』伝統の味を守り続けているのが、八寸と最後の甘味です。これは『田村』として譲れない2品で、特に八寸は『田村』を表した一品、顔と言っても過言ではありません」と力を込めます。

お客さまの要望にはできる限り応えたいという山岡さんは「最近では和の懐石としては珍しい肉料理を入れるようになりまして。時代の流れですね」と話します。

同店では地元ならではのつめしや、12月に1日だけの限定メニュー、クリスマス懐石もあり、企画した長谷川さんは「遊び心を全面に出して、和食の違った面を見ていただけるのもいいと思って。結構好評なんです」と笑顔を見せます。

新型コロナウイルスの影響で今春、営業短縮を余儀なくされた同店ですが、通常営業となった今もお弁当の注文を受け付けており、6月中旬からは期間限定で神戸牛のすき焼き弁当やミルフィユみそカツサンドなど、新メニューも販売されています。「田村の味がぎゅっと詰まったお弁当です。ご家庭でもぜひ田村の味をお楽しみください」

山岡さんは「開業当初、企業の接待でご利用いただくことが多かった当店も、最近ではご家族、ご友人同士で気軽にとお越しただけになりました。女性向けのメニューなど、時代とともに変化してきました。しかしこの30年、変わらないのは、地元の皆さまに支えられている」ということです。今、大変な状況にある中でも励ましのお声をいただいています。その声に応えられるよう、これまで以上に精進を重ねてまいります」と決意を語りました。

取り組んだ主な事例：感染防止対策

城山開発(株)城山ゴルフ倶楽部(志方町野尻808-1 Tel079-452-4441)



カートはこまめな消毒を実施しています

入口には体温計と消毒液が置かれ、体温が37度以上は入館禁止と、厳しめの設定をして感染防止に努める城山ゴルフ倶楽部。「接触減の観点から消毒液も手をかざすだけの自動噴射タイプにしました」と語るのは総務部の稲留一機さん。

休業要請対象業種に入らず通常営業を続けてきた同社は、フロントには従業員手作りのしっかりとしたアクリル製の仕切り板を設置、接客する時にもマスク着

用を義務付けています。カートもこまめに消毒し、キャディと同乗する際はプレーヤーにもマスク着用をお願いしています。稲留さんは「お客様に安心してプレーしていただける環境づくり、また従業員の安全を守る勤務体制などの整備に取り組んでいます」と話します。



レストランはテーブルの間隔をとり、窓は全面開放

また、昼食をはさみず短時間でゴルフを楽しんでいただく『平日1R早朝スループレー』などのプランも実施しました。「外出自粛期間中でもあり、大々的なPRもできず、HP告知や電話でお問合せいただいた方にお知らせしたぐらいです」と話すのは、自身も大のゴルフ好きという営業部の山本佳奈さん。だからこそ、太陽の下で体を動かせないことのもどかしさも共感でき、その思いは新プラン発案の原動力ともなっています。

「2月後半から5月まではかかってくる電話はほとんどがキャンセルの電話でした。その時は事務所も暗い雰囲気でしたが、応援の声もたくさんいただき励み・支えとなりました。それに比べられるよう、今後も感染防止対策に加え、熱中症などの安全対策も徹底してまいります。緑の木々に囲まれたコースに出て、思いっきり体を動かしてください。スタッフ一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております」。

取り組んだ主な事例：新たな営業形態

(株)フラップアップ・ケイ(藤久グループ)(加古川町篠原町21-8 Tel079-422-4129)



ボリューム満点のお弁当が並びました

不要不急の外出自粛要請に伴い3月下旬からヤマトヤシキ内の店舗をはじめ経営する全店舗を休業した代表取締役の向野拓馬さん。いつ再開できるかもわからないなか、テイクアウトに舵取りを変えることを決めます。しかし「1店舗より複数の業者とともにする方が、注目度もアップし、対策やアイデアを出し合えるのではないかと考え、SNSや知人を通じて参加者を募りました。出店場所は買い物客の目に止まりやすい“デパ地下”と決め、ヤマトヤシキ担当者と相談し、出店しました。

出店者はフランス料理店にラーメン店など多彩な顔触れ、迎えた販売初日、複数出店ならではの種類豊富なお弁当の前は、大勢の買い物客で賑わい向野さんも驚くほどでした。

緊急事態宣言解除後、店舗営業を再開した向野さんは、営業を再開した近隣飲食店の情報を店舗前に貼り出し、仲間と協力し合いながら、この難局を乗り越えようとしています。

解除されたとはいえ、店内飲食を控える人が多く、思いついたのが、テイクアウトと同じように複数店舗が集まった屋外での『ビアガーデン』です。「各ブース、チケットを支払うスタイルで、おつまみやBBQ、締めラーメンもほいしいですね。飲食店だけでなく、野菜の生産者やお菓子の小売などの出店も募っています」と、『飲んで楽しい、買って嬉しい』ビアガーデンを、ヤマトヤシキ屋上で開催しています。

「我々事業者を取り巻く環境は、先が見えず非常に厳しいものがあります。そんな時こそ、皆で知恵を出し合いながら何とかして乗り越えていかなければなりません。店内飲食以外でも自店の味を皆さまにお届けできる方法があります。これから多様なやり方で変わらずご利用いただけるよう、前を向いて突き進んでいきます」と力強く話しました。

週末の加古川の夜を盛り上げよう! ヤマトヤシキ加古川店屋上にて「01ガーデン加古川」を開催!

2020年7月10日(金)～11月1日(日) 金・土・日・祝開催/16:00～22:00

出店者随時募集しています! 詳しくは079-457-2005(向野さんまで)

新型コロナウイルスに立ち向かう会員事業所 ～取り組み事例とその思いを聞く～

現在、感染状況は落ち着きを見せている新型コロナウイルスですが、第2、第3波の感染拡大も警戒されているなか、多くの事業所では感染防止対策の強化や新たな準備を考えていることと思います。

今月の特集は、試行錯誤されながらも対処された会員事業所の取り組み事例や今後の対策などをご紹介します。

今後の感染防止対策などの参考にいただけると幸いに存じます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中の経済を停滞させ、人々の生活にも大きな影響と変化を与えています。中小企業においても、自粛要請に伴う休業などから収入が減少し、事業継続に不安を感じる事業者が多数いる現実があります。

日本商工会議所のLOBO調査においても、「影響が生じている」「長期化すると影響が出る懸念がある」が合わせて96%にものぼり、経済界全体に影響を及ぼしていることがわかっています。

政府から出された「人との接触8割削減」の要請に伴い、通勤者を減らす策の一つ、テレワーク(在宅勤務)の実施状況についてもLOBO調査によると、実施・検討については、合わせて24.1%という結果が出ています。

反面、「テレワーク可能な業務はないため、実施しない」という回答が67.5%と最も多く、「テレワーク可能な業務はあるが、実施しない」は8.4%にとどまり、実施しない理由としては「社内体制が整っていない」が最も多く、全国的にも“出社ありき”の業務体制が多いのがわかります。

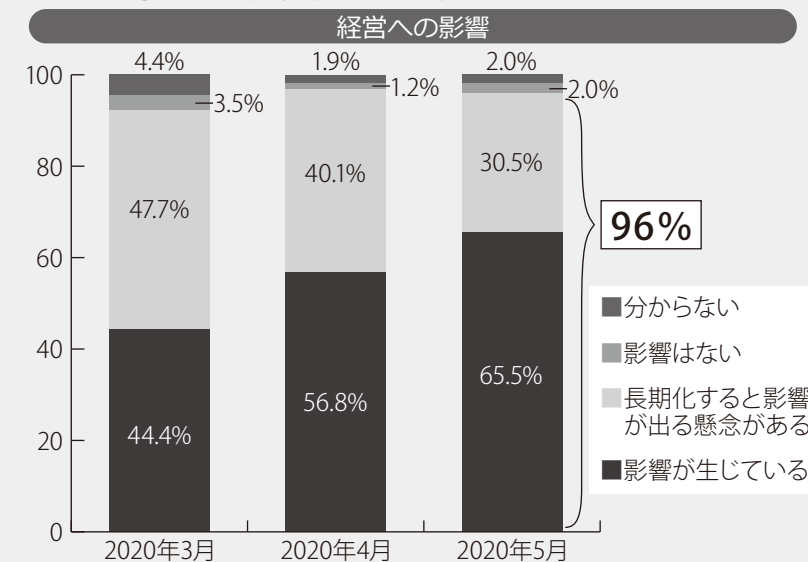
しかし、業況が一段と厳しくなっているなか「新しい生活様式に対応するための取組を進めていく」といった声も聞かれ、消毒の徹底やオンライン会議の導入等、自社で可能な感染防止対策に努めているとの回答がみられました。

現在、ほとんどの事業主は「感染しない・させない」の思いのもと対策をとっていますが、ガイドラインに沿いながらも業種・規模・地域など、それぞれに違った環境であるため、試行錯誤しながら行っているのが実情です。

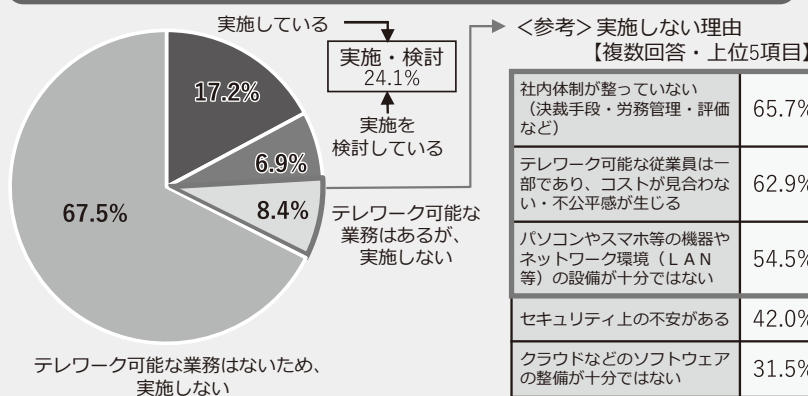
そのような中にありながら、先の意見にもあったように、新たな生活様式に対応しつつ、事業継続と雇用維持を図るため、様々な策を講じ、準備をしている事業所もあります。

次ページからは、当所会員事業所の感染防止や事業継続に関する取り組み事例などについてご紹介します。

日本商工会議所LOBO調査(2020年5月調査)



テレワークの実施状況



取り組んだ主な事例：組織体制（BCP対策）、働き方の整備・確立

(株)マルアイ (神野町神野225-1 TEL079-430-5181)



店舗レジには仕切りのビニール、セミセルフレジも接触減に役立っています

同社では、2月下旬に社長を本部長とした新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ、今後の対策について話し合いましたが、解決しなければならない課題は山積していました。

対策本部のメンバーの一人である総務人事部長は、「まずは食料品安定供給のための営業継続に向け、従業員の体調管理をどうするのか、ということでした。検温・家族を含めた健康状態等の報告を週2回、全63店舗から従業員のデータを整理・報告してもらい、約3000名分を本社で一括管理しました。他にもマスクの備蓄管理や店舗内の環境整備をどうするのかなど、それぞれの担当部門が迅速に動いてくれたので、早い段階で対策を講じることができました」と話します。

また、今回全社員の体調管理をチェックするなかで、日頃から体調が優れないことが多い社員を把握、本人にヒアリングを実施しました。「感染拡大防止の意味で始めた体調管理ですが、本人が言い出せなかった悩みに気付くきっかけとなりました。休校などで家に子や孫がいる従業員には、正社員・アルバイトにかかわらず積極的な有休取得を勧め、人員減については本社からも応援要員を派遣し、お客様に変わらぬサービスが提供できるよう体制を整えました」

『従業員第一』を掲げる同社は、感染の不安があるなか変わらず業務を遂行する従業員に対し奨励金も支給し、他にも地元医療機関に栄養ドリンクや食料を2ヶ月に渡り寄贈したり、内定取消となり困っている方の採用を打ち出したりするなど、困難な時だからこそ、社内外への心配りを忘れないようにしています。

「常々、何かあった時に現場が混乱しないよう、素早い指揮系統の体制づくりを行っています。その中で一番感じたのは話し合いの必要性でした。“会議不要”という考え方もありますが、今回改めて情報共有の大切さを実感しました。今後もコミュニケーションを密にとり、従業員とお客様にとって最善の環境やサービスを提供し続けてまいります」と、緊急事態のなか私たちの生活を変わずに支える基盤は、同社のBCP対策の確立にありました。

新型コロナウイルスは収束時期が見えず、事業者にとっては出口の見えない、困難な状況におかれています。そのようななか、従業員の健康を守り事業を継続するために、今この時も策を練り、取り組んでおられるのではないのでしょうか。他社を知ること、思わぬアイデアが思いつくこともあります。様々な人と意見交換し、知恵を出し合ってこの難局を乗り越えていきましょう。

また「うちはこんな事をしている」「新たにこれを取り入れようとしている」など、皆さんの事例をお教え下さい。改めて誌面にてご紹介させていただきます。

そして、新しい策を取り入れる際は、法律や規約、ガイドライン等に反していないか、などにも注意を払い取り入れていきましょう。

ご連絡・お問合せ 加古川商工会議所 会員課
TEL：079-424-3355 FAX：079-424-7157
E-Mail：info@kakogawa-cci.or.jp

ガイドラインを参考に対策を講じましょう

事業者は、提供しているサービスの内容に応じて、新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染のそれぞれについて、従業員・顧客等の動線や接触等を考慮したリスクを考え、そのリスクに応じた対策を検討しなければいけません。

業種ごとのガイドラインは、内閣官房・兵庫県がホームページ上で公開しています。

- 内閣官房の「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン一覧」 [内閣官房 業種別ガイドライン](#) [検索](#)
- 兵庫県の「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン」 [兵庫県 コロナ ガイドライン](#) [検索](#)

取り組んだ主な事例：テレワークの導入（働き方改革）

(株)フジヤ號 (加古川町北在家2055 TEL079-424-2485)



働き方改革の一つとして取り入れているテレワーク

「当社のキャッチフレーズ『オフィスの進化をサポートする』は、新たなワークスタイルを提案し、快適な職場環境づくりを総合的にサポートする、という意味が込められています」と話すのは代表取締役の山本亜也夫さんです。

以前から働き方改革の一環としてテレワークの準備を進めていた同社ですが、感染拡大防止による出勤減が急務となり、ピッチをあげて仕上げました。実際にはじめてみると従業員からは「集中できて仕事はかどる」「保育園の送迎に慌てず落ち着いて行ける」「長時間の通勤時間が無くなった」など時間を有効に使えるようになったと好意的に捉える声が聞かれます。また、テレワーク勤務者と事務所フロアの映像を繋いでいるため、出勤者の在席・不在も確認でき、コミュニケーションのタイミングも図りやすくなっています。

山本さんは「テレワークはまず、この仕事は持ち帰れるか否か、仕分けからはじまります。『絶対持ち帰れない仕事』がある、本当にそうでしょうか。改善すべき点はないでしょうか。仕事の仕分けは改善点を見つける絶好の機会、そこを見直せば“生産性の向上”に繋がるはず。『マイナスからプラスへ』——。働き方改革は発想の切り替えさえすればすぐにでも取り組みます。テレワークは今後も働き方の選択肢の一つとして定着させたいと考えています」と話します。

テレワークの導入をきっかけに、リモート営業などアイデアは次々と浮かんでくるという山本さん。「この先、生活・仕事スタイルは大きく変化します。テレワークは今後も広く浸透していくでしょう。準備期間も状況によって違いはありますが、最短なら2ヶ月です。皆さんには今だからこそ“新しい働き方”について検討していただきたいですし、我々も実経験をもとに、そのお手伝いをしたいと考えています」と、テレワークを働き方改革の第一歩にしてほしいと笑顔を見せました。

取り組んだ主な事例：感染防止対策

錦メンテナンス(株) (加古川市加古川町溝之口800 TEL079-424-2061)



使い捨て手袋を装着、接触箇所を丁寧に消毒します

「コロナ禍で加古川・姫路をはじめ、県内の官公庁やホテル、病院、工場など約70カ所での清掃やベッドメイク等、業務内容の見直しが必要となりました」と話すのは代表取締役の木谷良恵さん。

当初は対策をとるにも試行錯誤で「基準を作りましたが現場は多様です。お客様からの要望とこちらからの提案、双方にとってのベストは何かを個別に何度も話し合いを重ねました」と話し、意見のすり合わせで教えられたことも多くあったそうです。国内の感染拡大のレベルを独自で4段階に分け、それぞれのレベルに応じやり方を決定し、さらに現場の声を聞いたうえで清掃箇所・頻度などを決めています。そして、感染拡大が落ち着いている今、第2波に備え必要備品の補充や自社の仕組みの見直しなどを進めています。

しかし、清掃員は重症化リスクが高いと言われる高齢者も多く、体調管理には最新の注意を払っています。「急に休むと他の方に迷惑をかけてしまうと思わずに、無理をしないでと言っています。有難いことに感染が怖いと言って辞めた者もおらず、頑張ってくれている従業員のためにも安心して働けるように交代要員の確保などにも気を配るようにしています」と木谷社長が言えば、清掃員の方は「会社の指示のもとに感染防止対策を徹底した上で作業を行っているので不安は無い。皆さまには安心して施設をご利用いただけるよう責任もって清掃・消毒を行いたい」と話します。

木谷さんは最後に、施設利用の方に向けて「衛生面を考慮しトイレットペーパーの“三角折り”を無くした所もあります。また、ゴミ箱などはマスクやペットボトル・缶など、分別されずに無造作に捨てられていることもあります。社会の状況が変わったことへのご理解と、マスクなどは何かに包んで捨てたり、分別を心掛けていただくなどのご協力をお願いします」と呼びかけました。

「新型コロナウイルス感染拡大による影響調査」集計結果（抜粋）

■実施時期：令和2年5月21日～

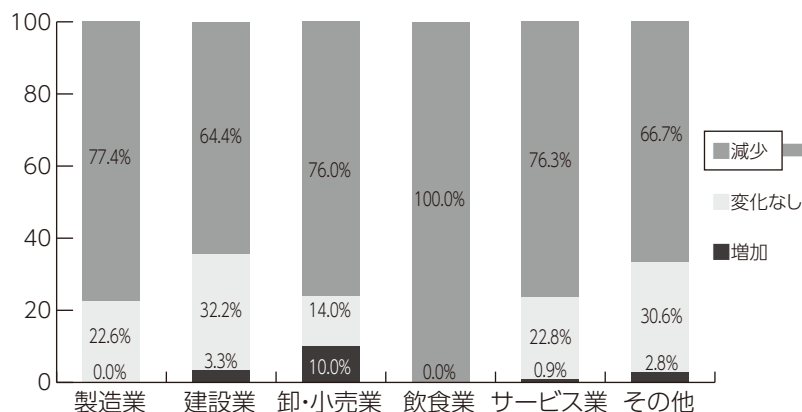
■回答数：602件

■回答率：27.5%

ご協力
ありがとうございました

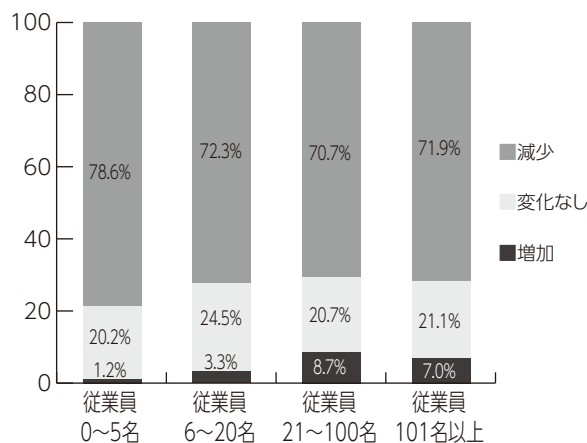
■実施方法：加古川商工会議所 会員登録事業者のうちFAX登録のある事業者へFAXにて調査票を一齐送信

業種別の売上増減

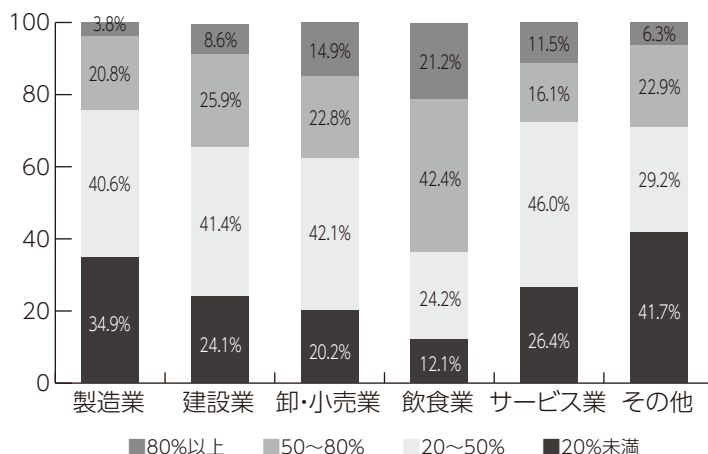


- ・全業種的に最も多い回答は「減少」となっている。
- ・特に飲食業については100%が減少との回答であり、現時点での影響の大きさが伺える。
- ・卸・小売業については「減少」が最も多いが、一方で「増加」回答が10%と他の業種に無い傾向を示す。これは在宅勤務や、学校園の休校等の所謂「ステイホーム」の影響により食品等の生活必需品を扱う事業所であろうと推測される。

事業規模別の売上増減



業種別「減少」の程度分布



自由意見

- ・消費マインド等を考えると、通常に戻るには相当な時間がかかるのではないかと。【多業種】 最多数
- ・政府予算等がコロナ対策に集中するため、先行き3年程度の公共事業が大幅に減少するのではと危惧【建設業】
- ・今後の不透明さを考えると、支援策については単発のみではなく継続的な支援を願いたい。【多業種】
- ・給付金や支援策の要件緩和を願う（売上減少しているが要件まで達していない。自粛要請外業種 等）【飲食業、多業種】



加古川公共職業安定所
はらぐちともあき
所長 原口 智章 さん

企業・求職者両方に寄り添いたい

日本経済に大打撃を与えている新型コロナウイルス感染症。雇用の影響は少し遅れて顕在化する恐れもあり、動向には注視する必要があります。4月に着任された原口所長に、管内の雇用情勢等について伺いました。

初めての加古川で精一杯の一年を

実は10年ほど手話を習っていたこともあり、窓口業務をしていた頃は、通訳がない時は代わりに対応したこともあります。また、単身赴任していた頃、休日の時間を持て余していた時に「介護をやってみよう」と思いつき、勉強と並行してグループホームでボランティアとして現場経験を積んだこともあります。元々、人のお世話が好きな性分なのかもしれませんね。

定年前最後の1年、加古川で精一杯の力を出し切ろうと思っっていますが、新型コロナウイルスの影響により経済

の先行きが不透明ななかで、雇用も不安定な状況が続くと思われます。企業・求職者両方に寄り添えるよう、職業安定所としても取り組んでいかなければならないと考えています。

合同面接会の通常開催ができない

コロナの影響による解雇などがニュースで報じられていますが、加古川管内では現在はまだ影響は少なく抑えられています。企業が雇用を維持できるよう頑張っているというこの表れでもあります。しかし、今年4月の就職紹介件数が289と、前月比マイナス35.9%、前年同月比マイナス27.9%と、新規採用への影響が出てきているようです。また、有効求人倍率も加古川は昨年4月の1.07が徐々に下がり、本年4月は0.74と、県下では「1」を上回っている安定所が多いなか低い数値が出ています。

高卒求人については、当所アンケートによると、まだ3割ほどの回収率ですが、ほぼ昨年同様との回答を得ています。高校生が自分の目で見たり、話を聞いたりして将来を選択するというのは大切なことで、例えば「高校内企業説明会」などは非常に有効な機会だったのですが、今年は開催が難しい状況です。東播磨にはものづくりなど優良企業がたくさんあり、その地元企業

の生の声を聞き、「求人一覧表」からだけではわからない良さを知ってほしい、という意味もあっただけに非常に残念です。

今までのような就職面接会が開催できないなか、どのようにして地元企業と求職者をつなぐのが我々の大きな課題です。会議室を使って、1社ずつの面接会という方法もありますし、リモートの活用についても他の事例を参考にしていきたいと思っています。

雇用調整助成金の相談・申請対応の体制を整えて

4月以降、雇用調整助成金の相談・申請が増えてきました。事業主の皆さんも、苦楽をともにしてきた従業員と協力し、この難局を乗り越えるため、雇用維持の方法を模索しておられます。当所でも専用の相談窓口を作り、他部署からも応援要員を増員し、スムーズに支給できるよう体制を整えており、その他の雇用に関する助成金のご相談もお受けいたします。

多くの事業主の方にとっては、過去に類を見ないほどの大きな障壁が立ちはかかっています。

その壁を乗り越えるお手伝いが少しでもできるよう、所員一丸となって精一杯努めてまいります。お困りの際はどうぞご相談ください。

受賞おめでとございます！

優良従業員表彰の授与がそれぞれの事業所で行われました。6月1日に三宅建設㈱へ訪問し、受賞者の方々等へインタビューを行いました。

三宅建設㈱
やぶした なるとし
数下 成敏さん（勤続7年）

土木部で現場監督を担当しています。よりよい完成に向けて様々な意見調整を行うことも多いです。

私たちが整備した公園で、子供たちが楽しそうに遊び、それを見守る地域の方々の笑顔を見たとき、この仕事をしていてよかったなと改めて感じました。

これからも当社で働けることを誇りに、社会貢献につながるよう、現場の仲間とも協力し合い、真摯に取り組んでいきたいと思っています。



三宅建設㈱
やまさき しあつ子
山崎 尚子さん（勤続13年）

振り返ると、13年間はあっという間でしたが、ここまでやってこられたのも、会社の皆さんの協力があつたからこそだと感じています。社長は、社員のこともしっかり考えて下さるので、産休・育休もしっかりとらせてくださいました。こうして仕事を続けられているのも、そのおかげです。

営業事務として、積みあがっている見積書をさばいたときや、入札がうまくいったときはやりがいを感じます。まだまだスキルアップして会社の役にたてるよう日々努力していきたいです。



三宅建設㈱
みやけ しんすけ
代表取締役 三宅 伸介さん

長年当社を支えていただいていることに感謝しています。数下さんは、技術者としてのセンスが抜群なので毎回発注していただいた方からの評判がいいんですよ。山崎さんは営業事務として男性が外回りの営業に注力できるように素早い事務処理で営業力の源となってくれていて、2人ともわが社には欠かせない存在です。～輝いてるって言われたい～というのを当社のスローガンに掲げていますが、社員一同この人に任せたい！と思っていただけるよう今後も尽力していきたいです。2人とも、いつもありがとう！これからもよろしく！



「第66回優良従業員表彰」を実施

毎年6月1日の創立記念日に優良従業員表彰式を開催しておりますが、本年は新型コロナウイルスの影響を考慮し、式典は中止となりました。会員企業から推薦を受けた36事業所65名の受賞された方々には、各事業所に於いて賞状等の授与を行っていただきました。

栄えある受賞された方は下記のとおりです。

氏名	事業所名
河井 朋子	カピル(協)
吉田 智子	カピル(協)
谷 昇	釜谷紙業(株)
出原 久美子	(株)フジヤ號
萩原 祐介	(株)フジヤ號
百合野 晴彦	(株)YK商会
岩佐 薫	加古川水産(株)
後田 みゆき	加古川水産(株)
阪本 渚	社会医療法人社団順心会 順心リハビリテーション病院
廣川 智美	社会医療法人社団順心会 順心リハビリテーション病院
道脇 千里	社会医療法人社団順心会 介護老人保健施設 加西白寿苑
新居 晴代	医療法人社団せいわ会 たずみ病院
岸本 美由紀	医療法人社団せいわ会 たずみ病院
小原 幸子	医療法人社団せいわ会 たずみ病院
松尾 豊子	医療法人社団せいわ会 たずみ病院
岡田 弥生	(株)ALC デイサービスセンターあえる加古川北
藤友 優子	(株)ALC デイサービスセンターあえる加古川北
井口 康之	(株)HER
宮崎 みわ	(株)HER
平山 恒代	社会福祉法人博愛福祉会
峯松 一平	社会福祉法人博愛福祉会
川原 小百合	ビューティ・サロン タカハシ(平岡店)
笹倉 めぐみ	印南養鶏農業(協)
霜門 研二	オークラ工業(株)
菊本 一也	オークラ輸送機(株)
井上 世志子	オーマイ(株)加古川工場
藤原 早苗	オーマイ(株)加古川工場
村中 清子	オーマイ(株)加古川工場
酒井 孝則	(株)神戸製鋼所加古川製鉄所
松尾 鉄也	(株)神戸製鋼所加古川製鉄所
齋藤 浩樹	(株)シマブンコーポレーション生産事業部加古川事業所
寺嶋 敏洋	(株)シマブンコーポレーション生産事業部加古川事業所
杉岡 智斉	神鋼鋼線工業(株)尾上事業所

氏名	事業所名
田津 直樹	神鋼鋼線工業(株)尾上事業所
田窪 正二	住友金属鉱山(株)播磨事業所
畑 修二	住友金属鉱山(株)播磨事業所
大西 浩文	多木化学(株)
武田 智裕	ネクストワン(株)
藤原 博	ネクストワン(株)
池内 幸治	ハリマ化成(株)加古川製造所
坂元 彩起	ハリマ化成(株)加古川製造所
納庄 浩	(株)二川工業製作所
北上 りえ	前島食品(株)
佐藤 利明	(株)丸十
谷林 直幸	(株)丸十
野口 恵理子	ワシオ(株)
堀井 朝子	ワシオ(株)
伊奈田 啓司	昭和住宅(株)
西中 淳司	昭和住宅(株)
西村 一毅	(株)不動産流通センター
志水 博行	(株)SIC
辻元 慎也	(株)SIC
横尾 研二	(株)SIC
齊藤 勝	オークラサービス(株)
竹内 英二	オークラサービス(株)
向井 智也	中村重機商事(株)
数下 成敏	三宅建設(株)
山崎 尚子	三宅建設(株)
藤澤 良一	木下運輸(株)
小寺 真央	(株)圓陣
壺屋 亮一	(株)圓陣
藤井 悟	三輪運輸工業(株)加古川支店
松本 和博	三輪運輸工業(株)加古川支店
北田 尚美	社会福祉法人日の出福祉会
竹中 丈侍	社会福祉法人日の出福祉会

(敬称略・順不同)

令和元年度決算等を審議

―常議員会を開催―

6月1日、令和2年度第1回常議員会を開催し、令和元年度事業報告・決算など、通常議員総会への上程議案について審議され、いずれも原案通り承認決定されました。

また、工場立地法による緑地面積率等の緩和について市に要望書を、市議会に請願書を提出したことを報告しました。

釜谷会頭は、「現状、新型コロナウイルス感染症予防のことも考えないといけないが、このままでは経済がストップしてしまう。新型コロナウイルスのこと、経済のことも両方を見ながら試行錯誤しながらやっていくことが求められる。当所職員もこの地域において様々な相談を受けており、事業者の窮状を実感しています。兵庫県商工会議所連合会の会長、副会長が知事に対話し経済界の状況を伝えており、日本商工会議所の会頭からも政府に対して情報提供など連携を密にということはやっていますが、とにかくお願いしているのは、スピードをもってというのが一番と要望しております。」と述べました。

新規会員のご紹介(令和2年2月1日～令和2年3月31日)

(順不同)

事業所名	所在地	営業内容
(株)魚国総本社 城山ゴルフ倶楽部事業所	志方町	ゴルフ場内レストラン運営
マリン・ブルー	別府町	カラオケ喫茶
小河原 隆香良	別府町	化粧品販売
久後 寛子	加古川町	美容業
中井 詠子	加古川町	美容業
村上工業	明石市	機械設備メンテナンス・鉄工・建設
若山 由花子	神戸市	化粧品販売

早急に工場緑地面積率緩和を!

―加古川市・市議会に要望―

5月26日、釜谷会頭、山本副会頭、岡田工業振興委員長の3名が加古川市と加古川市議会を訪れ、工場立地法に定める緑地面積率の緩和を求める要望書を岡田市長に提出、原田市議会議長には、議会審議扱いとなる請願書を提出しました。

昭和49年施行の工場立地法では、製造業等の敷地面積の20%以上を緑地化し、その緑地を含む25%以上を環境施設として整備するよう義務付けられています。



原田議長に請願書を提出、審議を依頼

現在では市町村が条例で面積率を緩和できるようにしており、兵庫県内ではすでに高砂市や播磨町など10以上の市町で緩和されています。

本年2月、工業振興委員会が実施したアンケート調査(回答44社)では、「事業(計画)上、規制が影響したことがある」または「これから影響する可能性がある」

と答えた企業が7割以上あり、設備の新設や更新等の際に事業(計画)を縮小、延期、断念せざるを得なかったケースがあったことも判明。近隣地域と比べ条件が悪く、他市へ転出することも視野に入れざるを得ないと答えた企業もありました。

このような状況を放置すると、当地域の企業の競争力は、他地域と比べ低下し企業活動にもマイナス要素となります。当所では、ものづくり産業の維持・発展や新たな市外企業の誘致を促進するため、企業が設備投資しやすい環境整備の一つとして、緑地面積率の緩和を求め、これによって当地域の経済活性化に繋がっていくことから、スピード感をもった対応を求めました。



岡田市長には早急な対応を要望

会員の皆さん、おめでとうございます!

令和2年 加古川市功労者表彰 受賞

【固定資産評価審査委員会委員として税務行政の推進に貢献】志方 紀久 様 (志方司法書士事務所 代表)

【食肉公社理事長として産業の振興に貢献】松岡 勝昭 様 (タキ峰 代表)

受賞者「よろこびの一言」



加古川市固定資産評価審査委員会の委員として12年間の活動を通じ、このような賞をいただきありがとうございます。司法書士の先輩から引き継ぎ、主に固定資産税の評価替えの際、申し立てがあれば審査を実施してきました。多いときは1年で10件近く審査したこともあり、3人の委員全員で数回現地調査へ行く際には、全員の日程を合わせるため、自分の仕事を調整することもありました。本業と並行しながら委員を務めるのは大変な時期もありましたが、皆様のお役に立てたのなら嬉しく思います。

司法書士として33年目、企業関係の手続きが中心ですが、最近は相続税法改正で基礎控除額が下がったこともあり、相続関係の相談も増えています。加古川地域は、住宅や宅地並みに課税される農地を所有し、控除額を超える場合が多いのですが、きちんと相続税申告を行い、所有権移転登記もしっかりとされる方が増えています。

この度、最長限度一杯の任期を務めた委員を次の世代に引き継ぎました。司法書士会播磨支部の中では年長の部類になってきましたが、頼もしい次の世代にもどんどん活躍してもらうため、その規範となれるよう、より一層励んでまいりたいと思います。



周りの皆様に助けられ、お世話になりながら（公財）加古川食肉公社理事長を18年間務めることができ、このような賞をいただきありがとうございます。

私は、行政との橋渡し役として、業者の方々や従業員の皆さんとコミュニケーションを大事にしながら、今日まで務めてまいりました。

平成13年に、私が理事長になった年は、国内でBSE（牛海綿状脳症）が発生し、牛肉の売上が激減した時で、真っ暗なトンネルに入ったような先が見えない状況になり肥育農家をはじめ食肉業界全体が大変苦労したことを思い出します。

本業の食肉卸小売業（マツオカフーズ㈱）は、既に息子に譲っておりますが、今は新たな販売先を開拓しようとしても、既存販売ルートが強固でなかなか入り込む事はできません。これからは、商品開発に力を入れ、高付加価値商品を販売するなど工夫をしていかなければならないと思います。

そして、趣味としている牛・羊・鶏等の飼育を今後も続けられるよう、牛肉を食べて、元気な体を保ち長生きしたいと思います。

普段から人との出会い『一期一会』をととても大切にしていますが、お会いしなくても思い出していただけるような存在になれるよう、まだまだ精進してまいります。

団体だより

加古川異業種交流会

新役員を選任

―令和2年度定時総会を開催―

6月16日、令和2年度の定時総会が開催されました。

令和元年度の事業報告・収支決算等について審議し、原案どおり承認決定されました。

続いて会則の改正についても承認され、その後、役員選任を行い、次のとおり新役員が選任されました。

会長	西村 雅文
副会長	岩崎小百合
副会長	奥村 洋一
副会長	谷崎 恭子
理事	井岡徳多郎
理事	石野 和也
理事	一井よしみ
理事	大西淳滋郎
理事	楠田 光生
理事	芝本 忠雄
理事	長谷川輝幸
会計監事	松下 剛士
会計監事	柳川 詔一
顧問	喜多 美雄
顧問	仲上 常幸

青年部

メンバーによる情報発信

―WEBセミナーを開催―

5月12日・19日・28日に、コロナ対策緊急WEBセミナーを「各種専門家、対応窓口担当による助成金・給付金・融資制度等の実際」と題して、計3回シリーズでZOOM形式にて開催しました。

講師はメンバーが担当し、第1回は、行政書士の山平純氏が「持続化給付金」について、第2回は、税理士法人アクトライズの高田裕美氏が「商売人向け緊急支援策」、但陽信用金庫の福地保友氏が「金融機関による実質無利子融資」について、第3回は、社会保険労務士の兼井隆太氏が「雇用調整助成金」について、説明しました。

それぞれ実務での経験を交えながら、制度の詳細をわかりやすく説明し、日々更新される情報のキヤッチアップ方法なども知ることができ、参加者にとって非常に有益なセミナーとなりました。

また、ZOOMを使つてのWEBセミナーは初めての試みでしたが、通常とは違った新たな可能性を感じる貴重な機会となりました。

(会長 片平 慎太郎)

会議所からのお知らせ

印刷物入札

当所より発注する印刷物に関し、競争見積を実施いたします。内容につきましては、前日までにお問い合わせ下さい。(当所会員限定)

●日時 7月22日(水)10時～
●場所 加古川商工会議所
3階事務所

●お問い合わせ 総務管理課
TEL 079・424・3355

中止が決定した事業

新型コロナウイルスの影響により、左記の2事業につきまして、本年は中止とさせていただきます。
例年9月に開催している
・会員大交流会
例年秋に開催している
・会員交流バス旅行

訂正とお詫び

令和2年6月号「エッセイ」について執筆者の読み方に誤りがありました。
(誤)執筆者：間鍋祥子(まなべしよこ)
(正)執筆者：間鍋祥子(かんなべしよこ)
訂正してお詫び申し上げます。

商工祭「加古川楽市」中止のご案内

本年度の商工祭「加古川楽市」について、9月12日・13日に予定しておりましたが、楽市実行委員会で協議を重ね、開催中止を決定しました。

市民と地元商工業者との触れ合いの場を提供し、商工業を通じて地域を活性化することを目的として、例年開催して参りました。しかし、市内外から約2万人の来場者が見込まれるイベントであり、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して講じることが難しいと判断し、来場者及び関係者の健康と安全を考慮した結果、やむなく中止とさせていただきます。

加古川駅から徒歩5分の好立地！ ミーティングや展示会に！

加古川商工会議所の貸会議室をご利用ください

〔貸室使用料〕

(消費税10%込み)

時 間				9時～12時	13時～17時	18時～21時	9時～17時	13時～21時	9時～21時
室 名	坪数・定員	料 金							
5F	500会議室	13坪 22名	基本料金	最初の2時間2,750円、以降1時間ごとに1,375円加算					
			会員料金	最初の2時間2,200円、以降1時間ごとに1,100円加算					
4F	大会議室 A+B	65坪 90名	基本料金	16,500円	27,500円	27,500円	38,500円	49,500円	66,000円
			会員料金	13,200円	22,000円	22,000円	30,800円	39,600円	52,800円
	大会議室 A	21坪 32名	基本料金	5,500円	9,350円	9,350円	13,200円	16,500円	22,000円
			会員料金	4,400円	7,480円	7,480円	10,560円	13,200円	17,600円
	大会議室 B	44坪 58名	基本料金	11,000円	18,700円	18,700円	26,400円	33,000円	44,000円
			会員料金	8,800円	14,960円	14,960円	21,120円	26,400円	35,200円
	特別会議室	28坪 36名	基本料金	13,200円	26,400円	26,400円	34,100円	47,300円	60,500円
			会員料金	10,560円	21,120円	21,120円	27,280円	37,840円	48,400円
	オーバルルーム	17坪 14名	基本料金	1時間毎に2,200円					
			会員料金	1時間毎に1,760円					
1F	展示ホール A+B	82坪	基本料金	38,500円	44,000円	44,000円	77,000円	82,500円	121,000円
			会員料金	30,800円	35,200円	35,200円	61,600円	66,000円	96,800円
	展示ホール A	54坪	基本料金	27,500円	33,000円	33,000円	55,000円	60,500円	88,000円
			会員料金	22,000円	26,400円	26,400円	44,000円	48,400円	70,400円
	展示ホール B	28坪	基本料金	16,500円	16,500円	16,500円	27,500円	27,500円	44,000円
			会員料金	13,200円	13,200円	13,200円	22,000円	22,000円	35,200円
B1F	B1中会議室	28坪 38名	基本料金	最初の2時間4,400円、以降1時間ごとに2,200円加算					
			会員料金	最初の2時間3,520円、以降1時間ごとに1,760円加算					
	B1小会議室	15坪 18名	基本料金	最初の2時間2,750円、以降1時間ごとに1,375円加算					
			会員料金	最初の2時間2,200円、以降1時間ごとに1,100円加算					
	B1特別室	9坪 12名	基本料金	最初の2時間2,750円、以降1時間ごとに1,375円加算					
			会員料金	最初の2時間2,200円、以降1時間ごとに1,100円加算					

使用時間は
9時～22時

〔付属設備使用料(日額)〕 (消費税10%込み)

展 示 パ ネ ル	1枚	330円
プ ロ ジェク ター (スクリーン付)	1式	5,500円
放 送 設 備	1式	3,300円
ビデオ・DVDデッキ	1式	3,300円
ホワイトボード(可動)	1式	550円
ス ク リ ー ン	1式	1,100円
間仕切りパネル(4階)	1式	330円

〔使用料金割増〕

- 使用目的が入場料徴収・販売及び宴会……料金の20%割増
- 超過使用時間……1時間超過ごとに申込時間帯の30%割増
(1F・4F会議室のみに適用)
- 冷暖房使用(運転時間9:00～21:00)……料金の20%割増
空気調整(冷暖房)時期の目安
(冷房) 4月中旬～11月中旬 ※気候等により適宜調整いたします
(暖房) 11月中旬～4月中旬 ※1F-4F-5Fは一斉に空調を切り替えます
- B1小会議室内調理スペースの使用……料金の20%割増

お問い合わせ先

加古川商工会議所 総務管理課(貸室担当) まで
TEL 079-424-3355

「家は基礎・柔道は基本」

(株)芳野基礎 代表取締役 よしの 芳野 ゆうたろう 祐太郎



住 所: 加古郡稲美町国岡1丁目21
T E L: 079-490-5332
営業内容: 住宅用基礎工事

ハウスメーカーの住宅の基礎工事を行っている(株)芳野基礎の芳野祐太郎と申します。

まず始めに、住宅の基礎工事とは、家づくりの土台となるととても重要な部分です。何事にも基礎が大事と言われるのですが、家づくりも同じです。数十年という長い年月を暮らす家の、地面と建物のつなぎの部分にあたる基礎を造るための工事は、建物が建ってしまえば見えなくなってしまうのですが、基礎は建物のすべてを支える土台であり、その土

台がしっかりしていないと、家が傾いてしまったり、崩れたりします。基礎工事がしっかりしていないと、家は長持ちしません。兵庫県全域で基礎工事をお請け致しております。毎日現場の清掃、美化に心がけ、安全を第一に、施主様が喜んで頂けるよう、全力を尽くして良い基礎を造っています。

そんな基礎工事業との出会いは、亡くなった妹でした。稲美町で妹夫婦が営む基礎工事業を引き継いで、加古川市で事業所を構えていましたが、一昨年に稲美町へ戻ってきました。

私の出身はたつの市(旧新宮町)で、兵庫県知事の井戸敏三さんと従弟にあたり、稲美町にはいつもお世話になっておりますので、この度5000枚のマスクを寄付させて頂きました。

私は中学の時から柔道をしており、柔道を通じていろいろな出会いや経験をしました。

1989年に加古川柔柵会という柔道チームを創設。当初は一般選手を中心に活動し、青年の部では4年連続全国大会に出場しました。2005年に加古川柔柵会の顧問となり、現在会長の畑田氏に指導を任せ、家の基礎造りと同様、柔道も基本を大切に、地域の

子供たちの健全な心の育成を目的とした少年柔道教室として、幼児から中学生の生徒たちを中心に活動しています。生徒たちは日本一を目指して、いつも一生懸命稽古に励んでいます。加古川柔柵会出身の選手の中には、阿部詩選手之母校、夙川高等学校へ進学して、全国高等学校柔道選手権大会で優勝した選手や、大野将平選手の母校、天理大学へ進学して、全日本学生柔道選手権大会で優勝した選手もいます。全日本柔道連盟が指定した強化選手になり、世界の舞台を目指して現在も活躍中です。

また加古川柔柵会は2月に芳野旗争奪柔道大会を主催しております。今年で第11回を迎えました。この大会は小学生の3人制の団体試合で、1・2年の部、3・4年の部、5・6年の部に分かれており、毎年全国からおよそ50団体の柔道チームが兵庫県に集まり、約600人の子どもたちが優勝旗争奪を目指して試合を行っています。

新型コロナウイルスで自粛が始まり、子供たちの姿も見なくなってしまいましたが、一日も早く終息して、また道場子供たちの元気な姿が戻ってこられるように、祈っています。



日経BP社
「日経ビジネス」
シニアエディター
わたなべ かずひろ
渡辺 和博

1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。全国各地のもののづくり企業、自治体、地域商社やDMOなどを取材、地域に持続的に稼げるビジネスをつくることをテーマにした著書『地方発ヒットを生む逆算発想のもののづくり』がある。全国の商工会議所などで地域活性化や名産品開発を支援する講演などを実施している。

「片田舎のオンライン駄菓子屋が

感じさせた可能性」

これからの消費者はオンラインを利用した商品やサービスの消費に慣れてEC（電子商取引）の新しいフェーズが訪れると思います。

実際、これまで通販はもとより遠方への販売に積極的でなかった京都の和菓子の老舗が生菓子のインターネット通販を始めた。有名シェフが地元山形の食材を東京のキッチンで調理して自らお客さんのところへ足を運んで届けるサービスを始めた。なんとかこの苦境を乗り越えようとするさまざまなチャレンジが始まっています。

私が注目したのは、田舎の小さな酒屋「もりとよ商店」が始

めたオンライン駄菓子屋という

試みです。紀伊半島の南端に近い人口約2600人の和歌山県・古座川町。かつてはよろず屋といわれていた食品・日用品を何でも扱う酒屋が、店の駄菓子コーナーでくじを引く様子やおもちゃの遊び方・楽しみ方を、申し込んだお客さんに時間を区切って生中継することで一緒に楽しむというものです。外で遊ぶことも、普段通っている店に行くこともできない子どもたちのために、参加型のエンターテインメント・イベントと物販を組み合わせ提供したのです。

インスタグラムによるライブ動画のリアルタイム配信機能を

使っているため、当事者同士だけでなく、第三者もスマホでその様子を見ることができました。これによって離れて住んでいるおじいちゃん・おばあちゃんも孫の楽しむ姿を同時に見られます。

現状での課題は課金で、買ってもらった商品や当たったおもちゃは、後で代引きなどで届ける仕組みです。将来は「〇〇ペイ」などの支払いアプリを利用したバーコード決済も使いやすくなるでしょう。スマホでできる簡易的な動画配信ですが、私が注目したのは、主催した「もりとよ商店」の森さんが言う「売り上げよりも、普段来てくれている子供たちが遊べる場を作れたかった」というところです。大掛かりなSNSやインターネットの仕組みを使わなくても実現できたことに大きな可能性を感じました。

レストランや居酒屋などへ行くのは、親しい人と過ごす時間と場を求めていることです。今後

は、例えば何人かで行きつけの店の料理やお酒を取り寄せて、それを同時にその店が主催するイベントに参加しながら楽しむといったことも広まるでしょう。オンライン飲み会も、今回のステイホームで初めて経験してみても意外と楽しいという声が多く聞かれます。同じ地域なら物理的に集まればいいですが、オンラインなら地域を越えて集まることもできます。地方の小規模事業者にとってうまく使えば便利な手段だといえます。

そうなると、必要なのは、モノやサービスをつくるだけでなく、イベントとしての企画力や普段からのお客さんとの絆（エンゲージメント）、情報の発信力が鍵になります。ビジネス環境としては大変な時期ですが、次の新しいチャンスが広がるといった側面もあるので、ぜひ次に向けたアンテナを立てていただきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業主の方へ

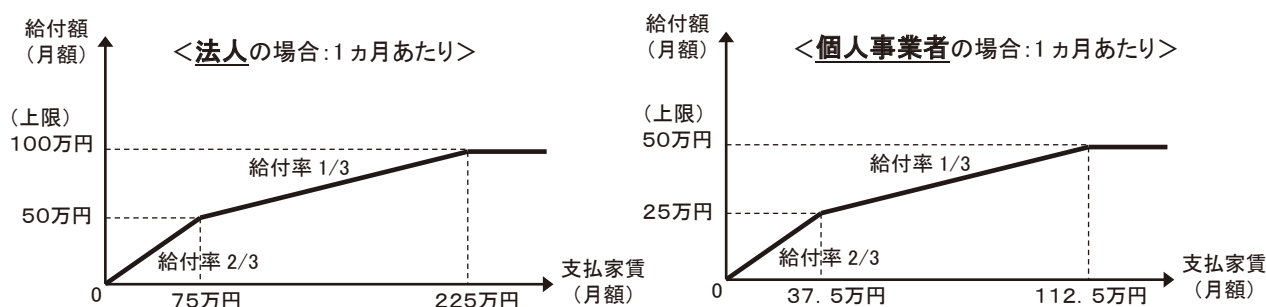
～家賃支援給付金が創設されました(令和2年度補正予算)～

5月の緊急事態宣言が延長されたことなどを踏まえ、売上の急減に直面する事業者の方々に対して、更に一層の下支えを行うため、固定費の中で大きな負担となっている地代・家賃の負担を軽減することを目的として、テナント事業者に対して「家賃支援給付金」を支給します。

【給付対象者】中堅企業、中小企業、小規模事業者、個人事業者等であって、5月～12月において以下のいずれかに該当する者に、給付金を支給。

- ①いずれか1カ月の売上高が前年同月比で50%以上減少
- ②連続する3カ月の売上高が前年同期比で30%以上減少

【給付額】申請時の直近の支払家賃(月額)に基づき算出される給付額(月額)の6倍(6ヵ月分)を支給。給付率・給付上限額は下図の通り。



6月23日現在の情報です。詳細な条件や申請方法等については、決定次第速やかに、経済産業省HP等で公表されます

7月の会議所カレンダー

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	水	広報委員会	17	金	法律相談
3	金	法律相談	21	火	異業種交流会7月度定例会、金融相談
9	木	雇用相談	28	火	不動産相談

無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが事前にお問合せください。

【お問合せ】加古川商工会議所 指導課 (TEL079-424-3355)

※不動産相談の会場は、(一社)兵庫県宅地建物取引業協会加古川支部(野口町良野410-1)です。

商工かがわ7月号

発行
2020年7月1日

発行人
加古川商工会議所
〒675-0064
加古川市加古川町溝之口800
TEL (079)424-3355(代表)
FAX (079)424-7157

印刷所 加古川印刷事業協同組合

広報委員の“つぶやき”

梅雨も本格化、雨の日が続いていますね。洗濯物も外で干せませんが、この雨も自然界にとっては必要なこと。

体調管理に気をつけながら、カラッと晴れた青空になるのを待ちましょう。

「今月の“こんな日”」

●土用丑の日(21日)

土用の期間のうちで十二支が丑の日。夏の土用の丑の日を言うことが多く、この日にうなぎを食べて夏バテを防ぐ習慣は、江戸時代に平賀源内が発案したとも言われます。マスク着用からの熱中症も懸念される今夏、スタミナをとって体力をつけて乗り切りましょう。